

リストNo		07-056		施設コード		05348		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		三ヶ日東放課後児童会						
所在(町名・番地)		浜名区三ヶ日町都筑2266-2						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			課長名	北村 聡		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		株式会社アンフィニ						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	157.00		土地情報	土地面積	0.00		
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	1981/11/1			代表地目(現況地目)			
	経過年数(主要建物)	42						
用途地域		第一種中高層住居専用地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	61	14	66
	維持補修費（修繕費）	28	154	0
	物件費（光熱水費）	236	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	325	168	66
行政コスト（B－A）		325	168	66
収支前年比		193.45	254.55	—
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	15-061	三ヶ日東小学校	生活		0.1	
	14-082	三ヶ日第4分団	コミュニティ		0.3	
	08-022	都筑保育園	生活		0.7	
	05-016	三ヶ日B&G海洋センター	地域		1.1	
施設周辺地図情報						

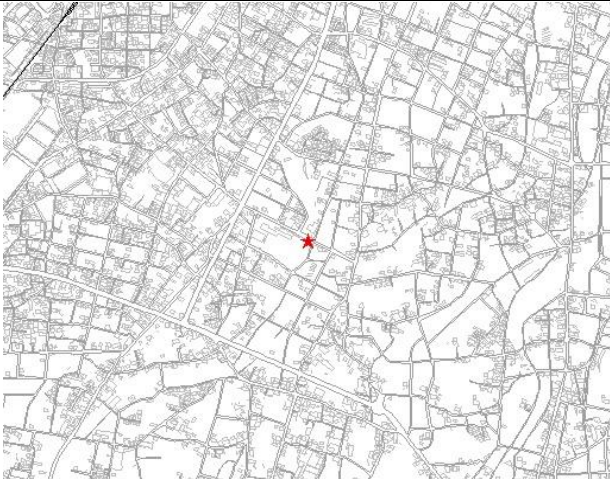
基本情報	リストNo	07-056	施設コード	05348	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	三ヶ日東放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後もニーズは高い状況にあると見込まれる								
	特記事項	平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大								
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(三ヶ日東放課後児童会)	2023	—	—	—			
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業④		—	2023	—	—	—				
	2022		—	—	—					
	2021		—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし								
	対応策	特になし								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,070	1,070	420	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	8,125	4,200	1,650	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(三ヶ日東小学校)									

リストNo		07-057		施設コード		02991	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設					
施設名		北浜南たんぽぽクラブ					
所在(町名・番地)		浜名区寺島3010-1					
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			課長名	北村 聡	
設置根拠(法)		児童福祉法					
条例		—					
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～					
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店					
開館時間		13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	113.73		土地情報	土地面積	0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	—					
	建築年月日(主要建物)	2008/2/1					
	経過年数(主要建物)	16			代表地目(現況地目)		
用途地域		市街化調整区域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	113	111	121
	維持補修費(修繕費)	0	0	35
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	113	111	156
行政コスト(B-A)		113	111	156
収支前年比		101.80	71.15	36.88
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		937	937	937
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	70	70	70
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	16,244	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2007	建設工事	31,238			
近隣施設						
同分類	No	施設名		圏域種別	距離(km)	
	07-083	秋桜第二・第三児童クラブ		生活	1.0	
	07-018	かさいっこ放課後児童会		生活	1.5	
	07-019	かさいっこ第2放課後児童会		生活	1.5	
	07-065	たつのこクラブ		生活	1.8	
その他の分類	03-053	北浜南部協働センター		生活	0.1	
	15-082	北浜南小学校		生活	0.1	
	08-070	北浜南幼稚園		生活	0.4	
	16-011	浜北学校給食センター		地域	0.7	
	13-066	高畑団地		地域	0.7	
	15-081	北浜小学校		生活	0.9	
	14-150	北浜分団・北浜小学校放課後児童会複合施設(分団庁舎)		コミュニティ	1.0	
	18-008	浜北防災センター		地域	1.0	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-057	施設コード	02991	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	北浜南たんぽぽクラブ			所管課	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後もニーズは高い状況にあると見込まれる								
	特記事項	平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大								
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(北浜南たんぽぽクラブ)	2023	—	—				
				2022	—	—				
				2021	—	—				
事業②		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業③		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業④		—	2023	—	—					
	2022		—	—						
	2021		—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	994	976	1,372	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	1,614	1,586	2,229	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(北浜南小学校)								

リストNo		07-058	施設コード		02992	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		赤佐タイガークラブ				
所在(町名・番地)		浜名区於呂2790-1				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課		課長名	北村 聡	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	344.30		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2008/3/31			代表地目(現況地目)	
	経過年数(主要建物)	16				
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	21	21	31
	維持補修費(修繕費)	0	78	50
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	21	99	81
行政コスト(B-A)		21	99	81
収支前年比		21.21	122.22	89.01
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,297	3,297	3,297
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	45	125	125
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	66,895	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2018	建設工事	64,386			
	2007	建設工事	28,350			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-066	天竜児童館	生活	1.7
	07-074	バンサークラブ	生活	2.0
その他の分類	15-077	赤佐小学校	生活	0.0
	14-090	浜北北部分団赤佐	コミュニティ	0.2
	14-024	浜北消防署赤佐出張所	地域	0.3
	13-067	根堅団地	地域	0.4
	08-072	赤佐幼稚園	生活	0.4
	03-057	浜北地域活動・研修センター	生活	0.6
	08-065	赤佐西幼稚園	生活	0.8
	15-137	浜北北部中学校	生活	1.1



基本情報	リストNo	07-058	施設コード	02992	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	赤佐タイガークラブ			所管課	施設	子ども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業①	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
							のべ募集人員	参加者数		
			放課後児童健全育成事業(赤佐タイガークラブ)		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業②			放課後児童健全育成事業(第一タイガークラブ)		2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業③			放課後児童健全育成事業(第二タイガークラブ)		2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業④			—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	61	288	235	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	467	792	648	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—		
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(赤佐小学校)								

リストNo		07-059	施設コード		03150	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		ラッコクラブ				
所在(町名・番地)		浜名区内野1702				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			課長名	北村 聡
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	198.42		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2009/3/23				
	経過年数(主要建物)	15				
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	28	28	21
	維持補修費(修繕費)	0	26	23
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	28	54	44
行政コスト(B-A)		28	54	44
収支前年比		51.85	122.73	26.67
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		1,194	1,194	1,194
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	21,910	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2008	建設工事(建築工事)	32,145			
	2008	建設工事(機械設備工事)	7,327			
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-062	浜名第1ビーパークラブ	生活		1.1	
そ の 他 の 分 類	15-079	内野小学校	生活		0.0	
	08-067	内野幼稚園	生活		0.2	
	14-084	浜名分団内野	コミュニティ		0.3	
	24-044	内野排水機場	—		0.7	
	24-007	半田揚水機場	—		0.9	
	15-138	浜名中学校	生活		0.9	
	15-080	浜名小学校	生活		1.1	
	11-009	浜北障害者生活介護施設光の園	市域		1.3	
施設周辺地図情報						

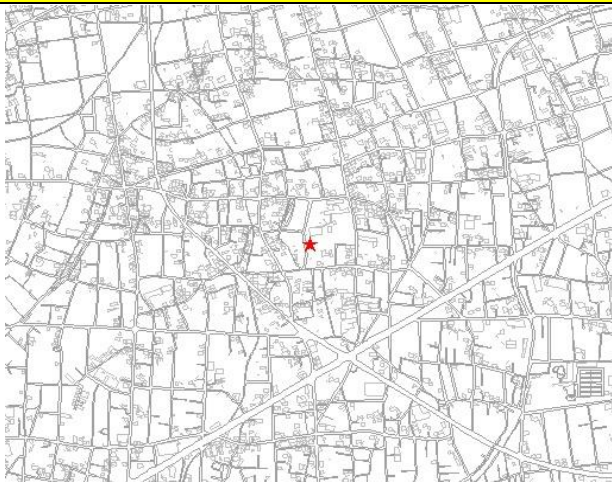
基本情報	リストNo	07-059	施設コード	03150	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	ラッコクラブ			所管課	施設	子ども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況					
					のべ募集人員	参加者数				
			2023	—	—	—	—			
2022			—	—	—	—				
事業①		放課後児童健全育成事業(第一ラッコクラブ)	2021	—	—	—	—			
			2023	—	—	—	—			
			2022	—	—	—	—			
		事業②	放課後児童健全育成事業(第二ラッコクラブ)	2021	—	—	—	—		
2023				—	—	—	—			
2022				—	—	—	—			
事業③			—	2021	—	—	—	—		
		2023		—	—	—	—			
	2022	—		—	—	—				
	事業④	—	2021	—	—	—	—			
2023			—	—	—	—				
2022			—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	141	272	222	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	350	675	550	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性	（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価		（横軸）建物の状況(耐震性、築年数等)による評価		（縦軸）前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価		（横軸）利用状況等による評価	
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)		利用状況等による評価(横軸)			
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
		浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	2民活導入	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
		(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(内野小学校)									

リストNo		07-060	施設コード		04172	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		新原スマイルクラブ				
所在(町名・番地)		浜名区新原2331				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			課長名	北村 聡
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	98.08		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2010/7/22				
	経過年数(主要建物)	13				
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	106	140	111
	維持補修費（修繕費）	74	0	0
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	180	140	111
行政コスト（B－A）		180	140	111
収支前年比		128.57	126.13	101.83
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		715	715	715
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	15,352	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2010	建設工事(建築工事)	18,148			
	2010	建設工事(機械設備工事)	6,493			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	07-061	麩玉イーグルクラブ	生活	1.6		
	07-063	伎倍ひまわりクラブ	生活	1.8		
その他の分類	15-076	新原小学校	生活	0.0		
	08-064	新原幼稚園	生活	0.2		
	03-056	麩玉協働センター	生活	0.8		
	14-091	麩玉分団宮口	コミュニティ	1.1		
	08-062	宮口幼稚園	生活	1.2		
	08-074	北浜北幼稚園	生活	1.3		
	13-069	法師軒団地	地域	1.5		
	13-063	於呂団地	地域	1.6		
施設周辺地図情報						
						

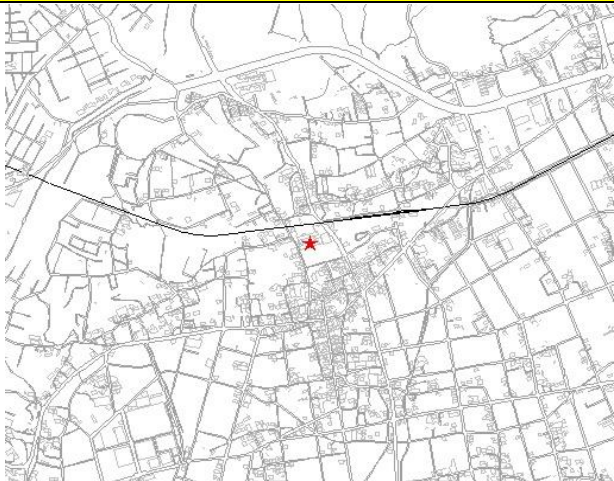
基本情報	リストNo	07-060	施設コード	04172	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	新原スマイルクラブ			所管課	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業①	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数			
			放課後児童健全育成事業(新原スマイルクラブ)		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—				
事業②				2021	—	—	—			
				2023	—	—	—			
				2022	—	—	—			
事業③				2021	—	—	—			
				2023	—	—	—			
				2022	—	—	—			
事業④				2021	—	—	—			
				2023	—	—	—			
			2022	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,835	1,427	1,132	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,500	3,500	2,775	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(新原小学校)								

リストNo		07-061	施設コード		04300	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		亀玉イーグルクラブ				
所在(町名・番地)		浜名区宮口262				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			課長名	北村 聡
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	136.00		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2011/2/28				
	経過年数(主要建物)	13				
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	21	21	31
	維持補修費（修繕費）	0	17	55
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	21	38	86
行政コスト（B－A）		21	38	86
収支前年比		55.26	44.19	245.71
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		800	800	800
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	50	50	50
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	16,265	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2010	施設整備工事	26,663			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	07-060	新原スマイルクラブ	生活	1.6		
その他の分類	15-084	麩玉小学校	生活	0.0		
	08-062	宮口幼稚園	生活	0.5		
	15-136	麩玉中学校	生活	0.6		
	14-091	麩玉分団宮口	コミュニティ	0.6		
	13-065	宮口団地	地域	0.6		
	05-023	明神池運動公園	地域	0.7		
	03-056	麩玉協働センター	生活	0.9		
	04-011	あらたまの湯	市域	1.4		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-061	施設コード	04300	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	魚玉イーグルクラブ			所管課	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況					
					のべ募集人員	参加者数				
			2023	—	—	—				
2022			—	—	—					
事業①		放課後児童健全育成事業(魚玉イーグルクラブ)	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
			2020	—	—	—				
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
			2020	—	—	—				
事業③	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
		2020	—	—	—					
事業④	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
		2020	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
	民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	154	279	632	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	420	760	1,720	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)供給評価、前年収支比率等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(魚玉小学校)									

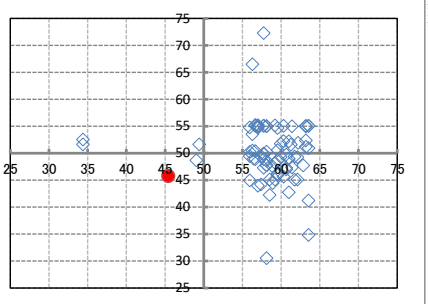
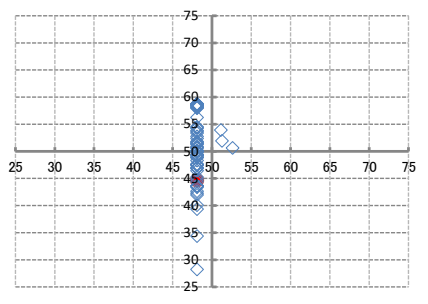
リストNo		07-062		施設コード		04414		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		浜名第1ビーパークラブ						
所在(町名・番地)		浜名区小松1450						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			課長名	北村 聡		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	81.90		土地情報	土地面積	0.00		
	構造(主要建物)	木造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	2.37						
	耐震工事(主要建物)	有						
	建築年月日(主要建物)	1971/7/1						
	経過年数(主要建物)	52			代表地目(現況地目)			
用途地域		市街化調整区域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	21	21	31
	維持補修費（修繕費）	0	239	0
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	21	260	31
行政コスト（B－A）		21	260	31
収支前年比		8.08	838.71	50.82
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	40	40	48
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2011	耐震補強工事	12,717			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-059	ラッコクラブ	生活		1.1	
	07-063	伎倍ひまわりクラブ	生活		1.9	
その他の分類	15-080	浜名小学校	生活		0.0	
	08-063	小松幼稚園	生活		0.4	
	08-073	平口幼稚園	生活		0.5	
	15-138	浜名中学校	生活		0.5	
	03-054	浜名協働センター	生活		0.7	
	11-009	浜北障害者生活介護施設光の園	市域		0.8	
	14-085	浜名分団小松	コミュニティ		1.1	
	15-079	内野小学校	生活		1.1	
施設周辺地図情報						

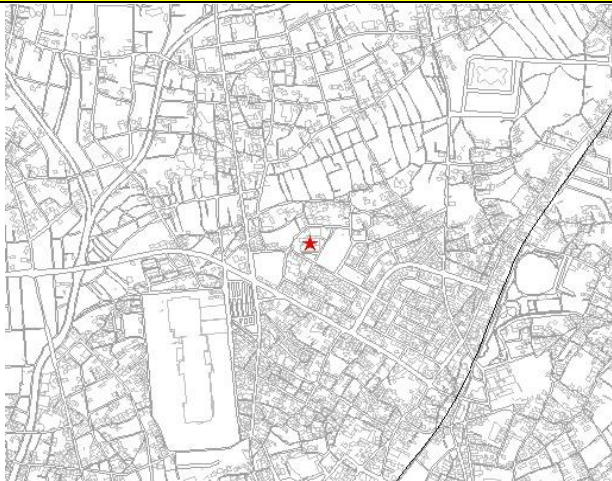
基本情報	リストNo	07-062	施設コード	04414	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	浜名第1ビーバークラブ			所管課	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(浜名第1ビーバークラブ)	2023	—	—	—			
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業④		—	2023	—	—	—				
	2022		—	—	—					
	2021		—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建物の老朽化により、施設の修繕及び改修が必要。								
	対応策	建物の修繕及び改修または校内にある他の学童保育施設を利用する等して、健全な学童保育の運営を図る。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	256	3,175	379	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	525	6,500	646	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比等による評価					(縦軸)前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(浜名小学校)								

リストNo		07-063		施設コード		04471	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設					
施設名		伎倍ひまわりクラブ					
所在(町名・番地)		浜名区貴布祢2646					
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			課長名	北村 聡	
設置根拠(法)		児童福祉法					
条例		—					
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～					
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店					
開館時間		13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	129.24		土地情報	土地面積	0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造			うち所有面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	1					
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00	
	建築年月日(主要建物)	2012/9/7					
	経過年数(主要建物)	11					
用途地域		第一種中高層住居専用地域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	21	21	31
	維持補修費（修繕費）	0	64	46
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	21	85	77
	行政コスト（B－A）	21	85	77
収支前年比		24.71	110.39	154.00
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		827	827	827
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	70	70	70
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	12,661	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2012	施設整備工事	20,713			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	07-082	第一・第二すみれクラブ	生活	1.1		
	07-064	第一・第二すずらんクラブ	生活	1.2		
	07-083	秋桜第二・第三児童クラブ	生活	1.3		
	07-060	新原スマイルクラブ	生活	1.8		
	07-062	浜名第1ビーバークラブ	生活	1.9		
その他の分類	15-075	伎倍小学校	生活	0.0		
	13-064	下小林団地	地域	0.5		
	24-042	瀬崎雨水貯留池排水ポンプ室	—	0.6		
	24-043	下善排水機場	—	0.7		
	03-005	浜北文化センター	市域	0.7		
	17-008	美蘭中央公園	地域	0.8		
	15-139	北浜中学校	生活	0.8		
	10-016	浜北生きがいデイサービスセンター	地域	0.8		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-063	施設コード	04471	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	伎倍ひまわりクラブ			所管課	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる					
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(伎倍ひまわりクラブ)	2023	—	—				
				2022	—	—				
				2021	—	—				
		事業②	—	2023	—	—				
2022				—	—					
2021				—	—					
事業③		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業④		—	2023	—	—					
	2022		—	—						
	2021		—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	162	658	596	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	300	1,214	1,100	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(伎倍小学校)								

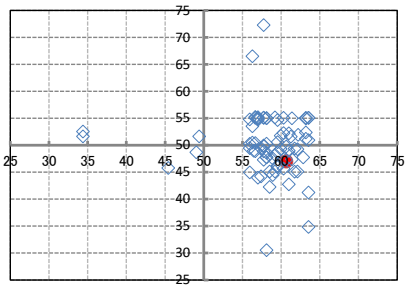
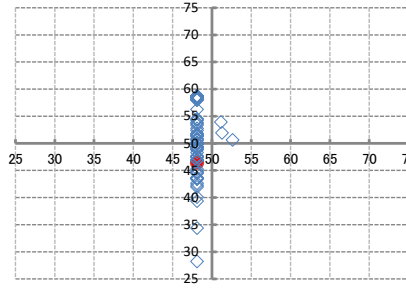
リストNo		07-064	施設コード		04642
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設			
施設名		第一・第二すずらんクラブ			
所在(町名・番地)		浜名区西美園1588			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課		課長名	北村 聡
設置根拠(法)		児童福祉法			
条例		—			
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～			
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店			
開館時間		13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	211.84	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2014/3/10			
	経過年数(主要建物)	10			
用途地域		第一種中高層住居専用地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	0	0
	収入計(A)	0	0
	人件費	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	42	42
	維持補修費(修繕費)	0	29
	物件費(光熱水費)	0	0
	物件費(借地利)	0	0
	支出計(B)	42	71
行政コスト(B-A)		42	71
収支前年比		59.15	229.03
(参考)指定管理料		0	0
(参考)減価償却費		1,099	1,099
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	—	—
	開館日数/年	—	—
	施設定員数	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	—	—
	生徒数	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	17,926	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2013	施設整備工事(建築工事)	27,863			
	2013	施設整備工事(機械設備工事)	7,638			
近隣施設						
同分類	No	施設名		圏域種別		距離(km)
	07-082	第一・第二すみれクラブ		生活		0.1
	07-083	秋桜第二・第三児童クラブ		生活		1.1
	07-063	伎倍ひまわりクラブ		生活		1.2
	07-065	たつのこクラブ		生活		1.8
その他の分類	15-083	北浜北小学校		生活		0.0
	08-068	北浜中央幼稚園		生活		0.3
	17-008	美園中央公園		地域		0.5
	24-041	小林雨水貯留池排水ポンプ室		—		0.5
	10-017	ふれあい交流センター浜北		地域		0.5
	24-042	瀬崎雨水貯留池排水ポンプ室		—		0.7
	15-139	北浜中学校		生活		0.8
	14-087	北浜東部分団美園		コミュニティ		0.9
施設周辺地図情報						

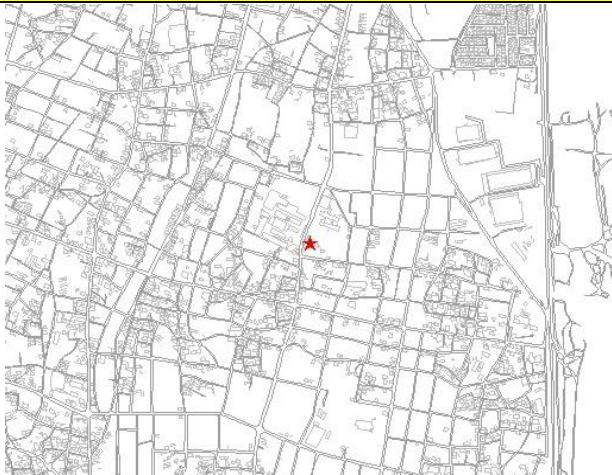
基本情報	リストNo	07-064	施設コード	04642	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	第一・第二すずらんクラブ			所管課	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業①	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
							のべ募集人員	参加者数		
			放課後児童健全育成事業(第一すずらんクラブ)		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業②			放課後児童健全育成事業(第二すずらんクラブ)		2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業③			—		2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業④			—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	198	335	146	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	525	888	282	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—		
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(北浜北小学校)									

リストNo		07-065		施設コード		04966		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		たつのクラブ						
所在(町名・番地)		浜名区善地1546						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			課長名	北村 聡		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	129.24		土地情報	土地面積	0.00		
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新					代表地目(現況地目)	
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2015/3/10						
	経過年数(主要建物)	9						
用途地域		市街化調整区域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	113	111	121
	維持補修費(修繕費)	293	303	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	406	414	121
	行政コスト(B－A)	406	414	121
収支前年比		98.07	342.15	84.03
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,010	1,010	1,010
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	70	50	50
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B/S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	17,494	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2014	施設整備工事(建築工事)	25,614			
	2014	施設整備工事(機械設備工事)	7,927			
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	07-083	秋桜第二・第三児童クラブ	生活	1.5		
	07-064	第一・第二すずらんクラブ	生活	1.8		
	07-057	北浜南たんぼぼクラブ	生活	1.8		
	07-082	第一・第二すみれクラブ	生活	1.9		
そ の 他 の 分 類	15-074	北浜東小学校	生活	0.0		
	08-069	北浜東幼稚園	生活	0.0		
	13-068	新堀団地	地域	0.2		
	05-021	サンライフ浜北	地域	0.8		
	15-140	北浜東部中学校	生活	0.9		
	05-022	浜北武道館	地域	0.9		
	14-087	北浜東部分団美蘭	コミュニティ	0.9		
	05-043	高蘭ゲートボール場あずまや	小規模等	1.2		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-065	施設コード	04966	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	たつのクラブ			所管課	施設	子ども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(たつのクラブ)	2023	—	—	—			
2022				—	—	—				
2021				—	—	—				
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
事業④	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	3,141	3,203	936	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	5,800	8,280	2,420	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(北浜東小学校)								

リストNo	07-066	施設コード	01984
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	天竜児童館		
所在(町名・番地)	天竜区二俣町鹿島530-1		
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	こども家庭部子育て支援課	課長名 小山 東男
	施設	こども家庭部天竜福祉事業所・社会福祉課	課長名 芦澤 信之
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	浜松市児童館条例		
設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする施設		
主な利用者	0歳児から18歳未満の乳幼児・児童および付き添いの保護者		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 17:00		
建物情報	総延床面積	400.13	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.78	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1980/2/29	
	経過年数(主要建物)	44	
用途地域		第二種住居地域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	44,251	44,251
	国・県	12,200	12,200
	寄付金	—	—
	その他	5,000	5,000
	市債	22,400	22,400
	一般財源	4,651	4,651
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	3	3
	収入計(A)	3	3	3
支出(千円)	人件費	10,000	10,000	10,000
	物件費(委託料)	430	266	271
	維持補修費(修繕費)	2,698	76	95
	物件費(光熱水費)	465	529	483
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	13,593	10,871	10,849
行政コスト(B-A)		13,590	10,868	10,846
収支前年比		125.05	100.20	102.97
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,577	1,577	1,577
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	4,546	4,503	3,872
	開館日数/年	286	292	290
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	24,589	2,294	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2018	外壁改修工事	6,751			
	2008	空調設備改修事業	7,245			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-058	赤佐タイガークラブ	生活	1.7
	07-067	ふたまた児童クラブ	生活	1.7
その他の分類	18-069	旧鹿島保育園	地域	0.1
	15-144	清竜中学校	生活	0.1
	14-095	天竜第3分団鹿島	コミュニティ	0.3
	08-071	上島幼稚園	生活	0.7
	04-044	田代家住宅	文化財	0.9
	17-011	鳥羽山公園	地域	1.1
	03-016	天竜壬生ホール	地域	1.2
	08-072	赤佐幼稚園	生活	1.3



基本情報	リストNo	07-066	施設コード	01984	所管課	本庁	こども家庭部子育て支援課		
	施設名	天竜児童館			施設	こども家庭部天竜福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	2	再任用(人)	1		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり、子どもとその家庭に対する相談援助							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする施設							
		主な業務内容	健全な遊びを通し、児童の集団的及び個別的な指導を行う						
		主な利用者	0歳児から18歳未満の乳幼児・児童および付き添いの保護者						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子化等の影響により今後利用者が減少する可能性がある。							
	特記事項	浜北区との隣接地に設置されているため、区をまたいだ利用がある							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	児童健全育成事業(地域子育て支援拠点事業)			2023	172	—	4,546
						2022	139	—	4,503
						2021	131	—	3,872
		事業②	—			2023	—	—	—
2022						—	—	—	
2021						—	—	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
	2022				—	—	—		
	2021				—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化とその対応。							
	対応策	日常点検等を通じ老朽化度の把握に努め、必要な修繕を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	○	他の施設との複合化を将来的に検討していく。			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	33,964	27,161	27,106	1人当たりのコスト(円)	2,989	2,414	2,801
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	47,517	37,219	37,400
	1日当たり利用者(人)	16	15	13	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況・前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設との統廃合などを検討する。							

リストNo		07-067	施設コード		02569	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		ふたまた児童クラブ				
所在(町名・番地)		天竜区二俣町二俣867-1				
利用者の圏域別分類等		生活		中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部天竜福祉事業所・社会福祉課		課長名	芦澤 信之	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		社会福祉法人天竜厚生会				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	129.60		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2002/3/31				
	経過年数(主要建物)	22				
用途地域		第二種住居地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



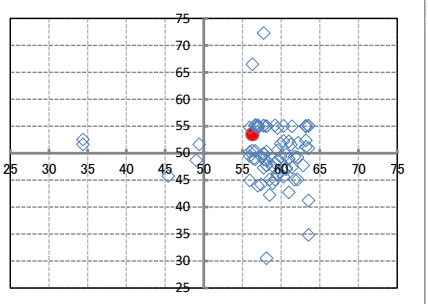
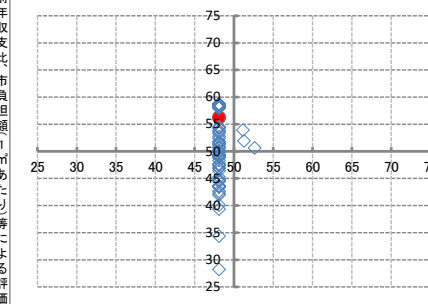
項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	0	0	0
	維持補修費（修繕費）	990	20	925
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	990	20	925
行政コスト（B－A）		990	20	925
収支前年比		4950.00	2.16	1651.79
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		132	132	132
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	70	70	70
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	3,092	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同 分 類	07-066	天竜児童館	生活	1.7
そ の 他 の 分 類	15-096	二俣小学校	生活	0.0
	04-047	二俣歴史散策路	小規模等	0.1
	04-042	ものづくり伝承館	文化財	0.3
	14-096	天竜第1分団諏訪町	コミュニティ	0.3
	14-094	天竜第1分団城下	コミュニティ	0.4
	04-030	ヤマタケの蔵	地域	0.4
	14-093	天竜第1分団横町	コミュニティ	0.5
	03-058	二俣ふれあいセンター	生活	0.5

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	07-067	施設コード	02569	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当
	施設名	ふたまた児童クラブ			施設	こども家庭部天竜福祉事業所・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する				
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き)により、ニーズは高まっている			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学6年生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
					のべ募集人員	参加者数	
		事業①	放課後児童健全育成事業(ふたまた児童クラブ)	2023	—	—	
				2022	—	—	
				2021	—	—	
		事業②	放課後児童健全育成事業(ふたまた第二児童クラブ)	2023	—	—	
2022				—	—		
2021				—	—		
事業③		—	2023	—	—		
			2022	—	—		
			2021	—	—		
事業④		—	2023	—	—		
	2022		—	—			
	2021		—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—					
	対応策	—					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	○	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	7,639	154	7,137	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	14,143	286	13,214
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設との複合化も検討する。※専用教室(二俣小学校)							

リストNo		07-068	施設コード		05058	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		とみつか放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区富塚町1803				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	226.28		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	-				
	建築年月日(主要建物)	2016/3/10				
	経過年数(主要建物)	8			代表地目(現況地目)	
用途地域		第一種低層住居専用地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	42	42	31
	維持補修費（修繕費）	132	0	0
	物件費（光熱水費）	410	484	398
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	584	526	429
行政コスト（B－A）		584	526	429
収支前年比		111.03	122.61	115.63
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		2,072	2,072	2,072
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	37,943	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2015	施設整備工事(建築工事)	53,168			
	2015	施設整備工事(機械設備工事)	11,802			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-081	こりす・こりす第2放課後児童会	生活		0.4	
	07-015	ひろさわ放課後児童会	生活		1.4	
	07-010	城北第2放課後児童会	生活		1.9	
その他の分類	15-025	富塚小学校	生活		0.0	
	14-006	中消防署富塚出張所・浜松第8分団	地域		0.1	
	03-023	富塚協働センター	生活		0.2	
	15-107	富塚中学校	生活		0.4	
	15-026	富塚西小学校	生活		0.4	
	03-073	富塚西会館	コミュニティ		0.7	
	08-003	権現谷保育園	生活		0.7	
	15-108	北部中学校	生活		1.0	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-068	施設コード	05058	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	とみつか放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業①	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
							のべ募集人員	参加者数		
			放課後児童健全育成事業(とみつか放課後児童会)		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業②			放課後児童健全育成事業(とみつか第2放課後児童会)		2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業③			—		2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業④			—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	2,581	2,325	1,896	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	7,300	6,575	5,363
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考指標								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考指標	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
個別方針	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(富塚小学校)							

リストNo		07-069	施設コード	05057	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設			
施設名		おおせ放課後児童会			
所在(町名・番地)		中央区大瀬町2218			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文
設置根拠(法)		児童福祉法			
条例		—			
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者		昼間に保護者が対応できない小学生			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または 包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～			
管理者名		株式会社社明日葉			
開館時間		13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	129.24	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2016/3/10			
	経過年数(主要建物)	8			
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



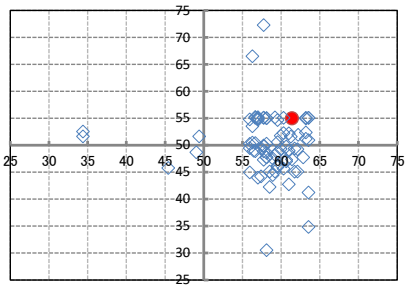
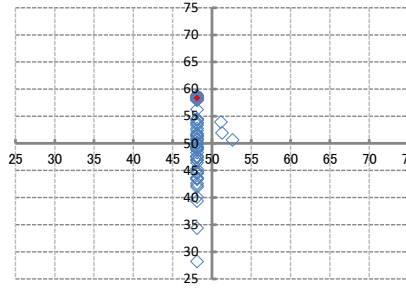
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	21	21	31
	維持補修費(修繕費)	94	146	0
	物件費(光熱水費)	181	184	171
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	296	351	202
行政コスト(B-A)		296	351	202
収支前年比		84.33	173.76	35.88
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,490	1,490	1,490
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	50	50	50
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	27,288	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2015	施設整備工事	38,416			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-024	与進北放課後児童会	生活	1.3
	07-021	なかごおり第2放課後児童会	生活	1.5
	07-025	積志ひまわり放課後児童会	生活	1.6
	07-028	よしん第1・第2放課後児童会	生活	1.7
	07-023	よしん第3放課後児童会	生活	1.7
	07-078	よしん第4・第5放課後児童会	生活	1.8
その他の分類	15-030	大瀬小学校	生活	0.1
	13-026	鷺の宮団地	地域	0.8
	14-043	浜松第21分団	コミュニティ	1.1
	03-033	長上協働センター	生活	1.2
	08-028	万斛幼稚園	生活	1.3
	15-036	与進北小学校	生活	1.3
	15-113	中郡中学校	生活	1.4
	26-039	市野雨水ポンプ場	—	1.4



基本情報	リストNo	07-069	施設コード	05057	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	おおせ放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(おおせ放課後児童会)	2023	—	—	—			
2022				—	—	—				
2021				—	—	—				
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業④		—	2023	—	—	—				
	2022		—	—	—					
	2021		—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,290	2,716	1,563	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	5,920	7,020	4,040	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(大瀬小学校)								

リストNo		07-070	施設コード		05118	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		あがたい放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区東伊場二丁目5-1				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		株式会社明日葉				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	119.30		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2017/3/15				
	経過年数(主要建物)	7				
用途地域		近隣商業地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	21	31
	維持補修費(修繕費)	168	16	0
	物件費(光熱水費)	194	245	172
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	383	282	203
行政コスト(B－A)		383	282	203
収支前年比		135.82	138.92	115.34
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,344	1,344	1,344
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	25,968	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2016	施設設備工事(建築工事)	34,484			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	07-013	こだま放課後児童会	生活	1.0		
	07-007	江西児童館	生活	1.0		
	07-001	浜松こども館	市域	1.1		
	07-004	かものこ放課後児童会	生活	1.3		
	07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	1.5		
	07-073	中部学園放課後児童会	生活	1.7		
その他の分類	15-002	県居小学校	生活	0.0		
	14-032	浜松第4分団	コミュニティ	0.1		
	13-011	東伊場団地	地域	0.2		
	03-028	県居協働センター	生活	0.4		
	05-006	武道館	市域	0.5		
	14-003	南消防署	地域	0.5		
	14-004	消防車両整備工場	地域	0.5		
	04-013	賀茂真淵記念館	地域	0.6		
施設周辺地図情報						

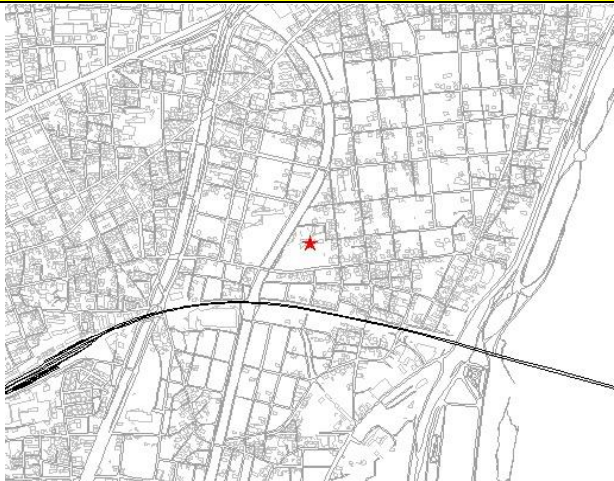
基本情報	リストNo	07-070	施設コード	05118	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	あがたい放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる					
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(あがたい放課後児童会)	2023	—	—				
2022				—	—					
2021				—	—					
事業②		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業③		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業④		—	2023	—	—					
	2022		—	—						
	2021		—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	3,210	2,364	1,702	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	9,575	7,050	5,075	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(県居小学校)								

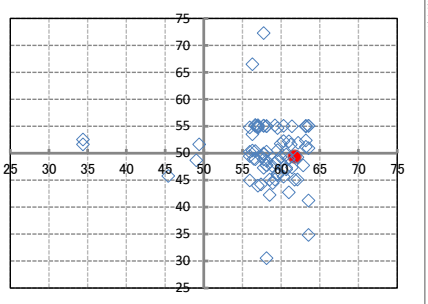
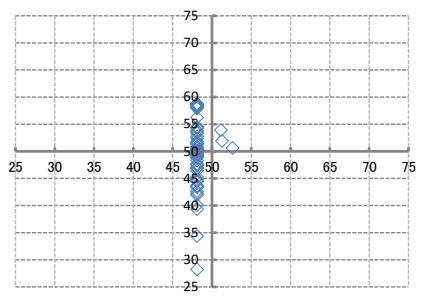
リストNo		07-071		施設コード		05119		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		たけの子放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区安間町437-2						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		株式会社明日葉						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	226.28		土地情報	土地面積		0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	2				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2017/3/15			代表地目(現況地目)			
	経過年数(主要建物)	7						
用途地域		市街化調整区域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	42	31
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	303	362	273
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	345	404	304
行政コスト(B-A)		345	404	304
収支前年比		85.40	132.89	14.31
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,803	1,803	1,803
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	34,828	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-026	和田っ子放課後児童会	生活		0.7	
	07-020	すぎの子第2放課後児童会	生活		1.1	
その他の分類	15-038	和田東小学校	生活		0.0	
	15-114	天竜中学校	生活		0.2	
	15-037	和田小学校	生活		0.7	
	03-032	天竜協働センター	生活		0.7	
	08-031	和田幼稚園	生活		0.7	
	10-012	ふれあい交流センター青龍	地域		0.8	
	09-005	東部保健福祉センター(いきいきブラザ天竜川)	地域		0.8	
	23-125	天竜川駅自由通路	地域		1.0	
施設周辺地図情報						
						

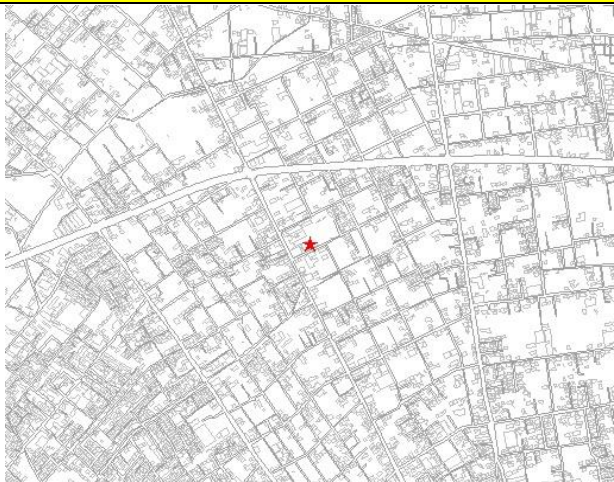
基本情報	リストNo	07-071	施設コード	05119	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	たけの子放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(たけの子放課後児童会)	2023	—	—				
2022				—	—					
2021				—	—					
事業②		放課後児童健全育成事業(たけの子第2放課後児童会)	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業③	—	2023	—	—						
		2022	—	—						
		2021	—	—						
事業④	—	2023	—	—						
		2022	—	—						
		2021	—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	1,525	1,785	1,343	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,313	5,050	3,800
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考指標								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考指標	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(和田東小学校)							

リストNo		07-072	施設コード		05820	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		みかた放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区三方原町682				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		株式会社明日葉				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	242.06		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2017/5/9				
	経過年数(主要建物)	6				
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	42	31
	維持補修費(修繕費)	57	0	0
	物件費(光熱水費)	490	460	365
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	589	502	396
行政コスト(B-A)		589	502	396
収支前年比		117.33	126.77	112.18
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,681	1,681	1,681
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数		—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	34,152	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-005	葵西放課後児童会	生活		1.1	
	07-053	とよおか放課後児童会	生活		1.1	
	07-049	はつおい放課後児童会	生活		1.7	
	07-079	あおぞら放課後児童会	生活		1.8	
	07-017	みずほ放課後児童会	生活		1.9	
その他の分類	15-069	三方原小学校	生活		0.0	
	14-064	浜松第29分団	コミュニティ		0.2	
	03-098	三方原会館	コミュニティ		0.4	
	08-050	三方原幼稚園	生活		0.4	
	14-021	中消防署曳馬野出張所	地域		0.6	
	13-002	葵西四丁目団地	地域		0.8	
	03-050	三方原協働センター	生活		0.8	
	03-068	葵西会館	コミュニティ		0.9	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-072	施設コード	05820	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		
	施設名	みかた放課後児童会			施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	放課後児童健全育成事業(みかた放課後児童会)			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
		事業②	放課後児童健全育成事業(みかた第2放課後児童会)			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
	2022				—	—	—		
	2021				—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし							
	対応策	特になし							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	○	—			
		広域化	—	—	—	—			
民生導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	2,433	2,074	1,636	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	7,363	6,275	4,950
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考
公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋

利用者の
地域毎の
方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。
放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。
そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。

個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(三方原小学校)

リストNo		07-073	施設コード		05227	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		中部学園放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区鹿谷町11-3				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		株式会社明日葉				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	226.21		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2018/3/12				
	経過年数(主要建物)	6				
用途地域		第二種住居地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	42	42	31
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	281	273	273
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	323	315	304
	行政コスト（B－A）	323	315	304
収支前年比		102.54	103.62	103.40
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		1,610	1,610	1,610
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	32,699	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2017	施設設備工事(電気工事)	3,526			
	2017	施設設備工事(機械設備工事)	14,513			
	2017	施設設備工事(建築工事)	41,843			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	0.5
	07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	0.9
	07-001	浜松こども館	市域	1.2
	07-010	城北第2放課後児童会	生活	1.6
	07-070	あがたい放課後児童会	生活	1.7
	07-004	かものこ放課後児童会	生活	1.8
	07-013	こだま放課後児童会	生活	1.8
	07-016	ふなこし放課後児童会	生活	1.9
	04-015	茶室「松韻亭」	地域	0.1
その他の分類	15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.2
	04-009	美術館	市域	0.3
	04-001	浜松城公園天守閣	広域	0.3
	03-006	勤労会館(Uホール)	地域	0.3
	14-002	消防局・中消防署	市域	0.4
	01-001	本庁舎	市域	0.5
	13-006	鹿谷(市立東)団地	地域	0.5



基本情報	リストNo	07-073	施設コード	05227	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	中部学園放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する。							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業①	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
							のべ募集人員	参加者数		
			放課後児童健全育成事業(中部学園放課後児童会)		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業②			放課後児童健全育成事業(中部学園第2放課後児童会)		2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業③			—		2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業④			—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	1,428	1,393	1,344	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,038	3,938	3,800
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考指標								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考指標	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
個別方針	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(中部学園)							

リストNo		07-074	施設コード	05249	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設			
施設名		パンサークラブ			
所在(町名・番地)		浜名区中瀬3648-1			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課		課長名	北村 聡
設置根拠(法)		児童福祉法			
条例		—			
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者に対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者		就労等により昼間に保護者に対応できない小学生			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～			
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店			
開館時間		13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	239.07	土地情報	土地面積	282.97
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		うち所有面積	282.97
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	2019/8/19			
	経過年数(主要建物)	4		代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		70,251	—	70,251	
財源	国・県	44,270	—	44,270	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	25,981	—	25,981	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	14	31
	維持補修費(修繕費)	0	67	35
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	42	81	66
行政コスト(BーA)		42	81	66
収支前年比		51.85	122.73	178.38
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		2,289	2,289	2,289
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開設日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	8,924	45,344	—	

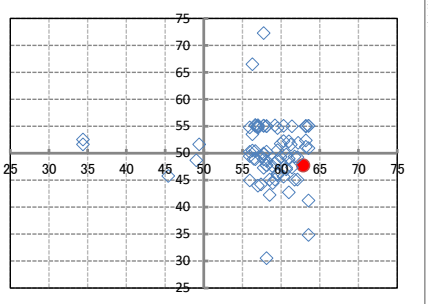
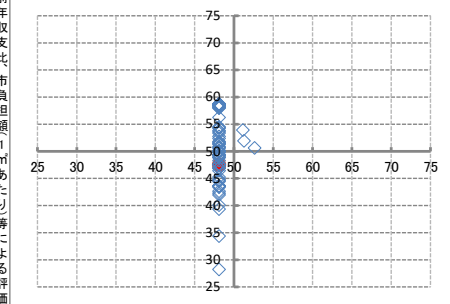
主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-058	赤佐タイガークラブ	生活	2.0

その他の分類	15-078	中瀬小学校	生活	0.0
	03-055	中瀬協働センター	生活	0.1
	08-066	中瀬幼稚園	生活	0.2
	14-089	浜北北部分団中瀬	コミュニティ	0.5
	15-137	浜北北部中学校	生活	1.1
	03-052	中瀬南部緑地会館	生活	1.3
	03-057	浜北地域活動・研修センター	生活	1.4
	20-011	浜北清掃センター	地域	1.5

施設周辺地図情報

基本情報	リストNo	07-074	施設コード	05249	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	パンサークラブ			所管課	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する。							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今度もニーズは高い状況にあると見込まれる。							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(第二パンサークラブ)	2023	—	—	—			
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
事業②		放課後児童健全育成事業(第三パンサークラブ)	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業④		—	2023	—	—	—				
	2022		—	—	—					
	2021		—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	176	339	276	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	525	1,013	825
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考指標								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考指標	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(中瀬小学校)							

リストNo		07-075		施設コード		05542		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		さとう第2放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区佐藤二丁目32-1						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	129.24		土地情報	土地面積	0.00		
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新					代表地目(現況地目)	
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2021/3/15						
	経過年数(主要建物)	3						
用途地域		第一種住居地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



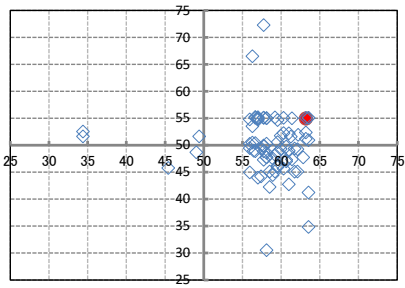
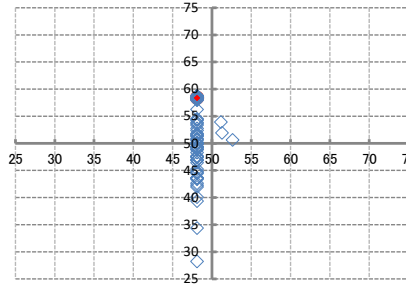
項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	21	10
	維持補修費(修繕費)	87	0	1,925
	物件費(光熱水費)	235	337	310
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	343	358	2,245
行政コスト(B-A)		343	358	2,245
収支前年比		95.81	15.95	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,044	2,044	2,044
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	50	50	50
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	47,657	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同 分 類	07-008	さとう放課後児童会	生活	0.0
	07-016	ふなこし放課後児童会	生活	0.7
	07-027	ボブラの子放課後児童会	生活	0.9
	07-011	若竹第2放課後児童会	生活	1.6
	07-014	こうま放課後児童会	生活	1.6
そ の 他 の 分 類	15-003	佐藤小学校	生活	0.0
	14-041	浜松第14分団	コミュニティ	0.3
	26-003	北ポンプ場	—	0.3
	03-003	勤労青少年ホーム(アイミティ浜松)	市域	0.5
	15-005	船越小学校	生活	0.6
	14-007	中消防署相生出張所・浜松第7分団	地域	0.6
	24-002	茄子湯水機場	—	0.7
	13-022	富吉団地改良住宅	地域	0.8

施設周辺地図情報

基本情報	リストNo	07-075	施設コード	05542	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	さとう第2放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる					
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数	
		事業①	放課後児童健全育成事業(さとう第2放課後児童会)	2023	—	—		
2022				—	—			
2021				—	—			
事業②		—	2023	—	—			
			2022	—	—			
			2021	—	—			
事業③	—	2023	—	—				
		2022	—	—				
		2021	—	—				
事業④	—	2023	—	—				
		2022	—	—				
		2021	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	○	—			
	広域化	—	—	—	—			
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,654	2,770	17,371	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,860	7,160	44,900	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(佐藤小学校)								

リストNo		07-076	施設コード	05543	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設			
施設名		さなえ放課後児童会			
所在(町名・番地)		中央区芳川町206-1			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文
設置根拠(法)		児童福祉法			
条例		—			
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～			
管理者名		株式会社明日葉			
開館時間		13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	239.07	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	2021/3/15		代表地目(現況地目)	
	経過年数(主要建物)	3			
用途地域		第一種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



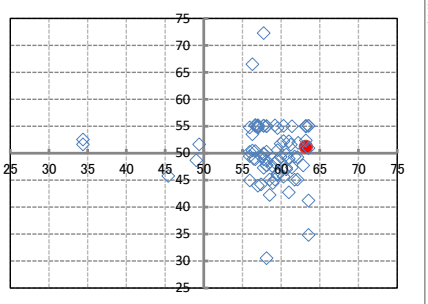
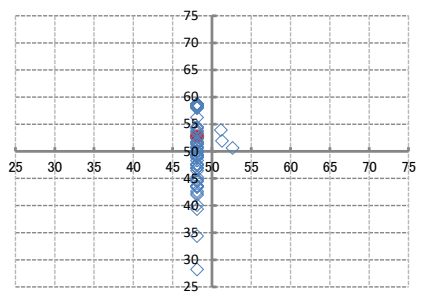
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	21	21	20
	維持補修費(修繕費)	0	88	0
	物件費(光熱水費)	392	453	354
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	413	562	374
行政コスト(B-A)		413	562	374
収支前年比		73.49	150.27	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,403	2,403	2,403
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	56,037	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-043	さなえ第2放課後児童会	生活	0.0
	07-046	芳北小放課後児童会	生活	0.8
	07-011	若竹第2放課後児童会	生活	1.5
	07-039	いなほ放課後児童会	生活	1.6
その他の分類	15-055	芳川小学校	生活	0.1
	08-044	芳川幼稚園	生活	0.1
	15-128	南陽中学校	生活	0.2
	14-062	浜松第26分団	コミュニティ	0.3
	26-037	参野雨水ポンプ場	—	0.4
	15-056	芳川北小学校	生活	0.8
	14-018	南消防署芳川出張所	地域	1.0
	14-016	浜松第27分団	地域	1.2



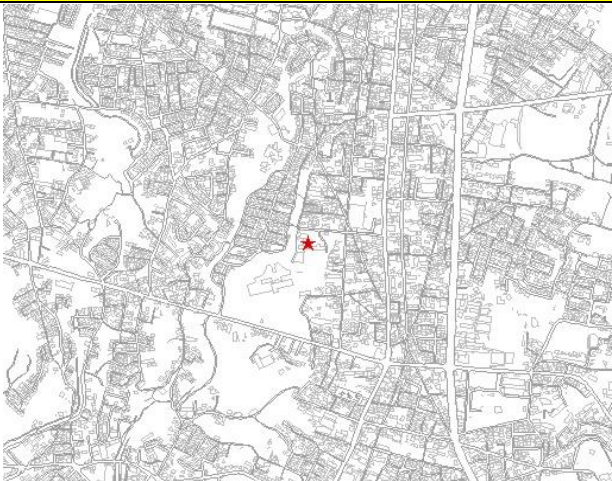
基本情報	リストNo	07-076	施設コード	05543	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	さなえ放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も需要は高い状況にあると見込まれる						
	特記事項	平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数	
		事業①	放課後児童健全育成事業(さなえ放課後児童会)	2023	—	—	—	
				2022	—	—	—	
				2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—		
	2022		—	—	—			
	2021		—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	○	—			
	広域化	—	—	—	—			
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,728	2,351	1,564	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	5,163	7,025	4,675	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(芳川小学校)									

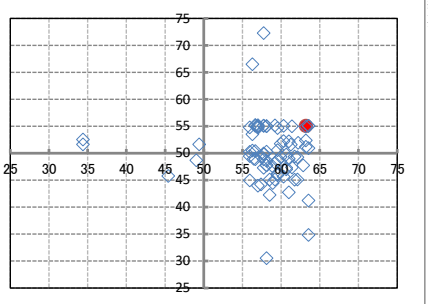
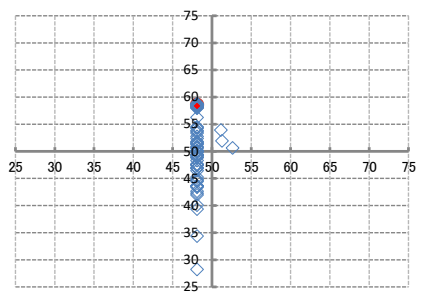
リストNo		07-077	施設コード	05544	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設			
施設名		たかだい放課後児童会			
所在(町名・番地)		中央区泉町一丁目16-1			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文
設置根拠(法)		児童福祉法			
条例		—			
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～			
管理者名		株式会社社明日業			
開館時間		13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	239.07	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	2021/3/24			
	経過年数(主要建物)	3		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)			
用途地域		第一種中高層住居専用地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	21	21	10
	維持補修費（修繕費）	0	15	921
	物件費（光熱水費）	279	329	272
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	300	365	1,203
行政コスト（B－A）		300	365	1,203
収支前年比		82.19	30.34	—
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		3,245	3,245	3,245
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	75,668	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	07-010	城北第2放課後児童会	生活	1.1		
	07-003	かみじま放課後児童会	生活	1.9		
その他の分類	15-020	泉小学校	生活	0.0		
	22-002	浜松市リハビリテーション病院	広域	0.2		
	14-008	中消防署高台出張所	地域	0.4		
	03-024	高台協働センター	生活	0.4		
	03-070	幸町会館	コミュニティ	0.6		
	03-075	和泉会館	コミュニティ	0.6		
	03-007	男女共同参画・文化芸術活動推進センター(あいホール)	地域	0.7		
	03-072	馬生会館	コミュニティ	0.7		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-077	施設コード	05544	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		
	施設名	たかだい放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる						
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	放課後児童健全育成事業(たかだい放課後児童会)	2023	—	—	—		
2022				—	—	—			
2021				—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	○	—				
	広域化	—	—	—	—				
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,255	1,527	5,032	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	3,750	4,563	15,038	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(泉小学校)								

リストNo		07-078	施設コード		05545	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		よしん第4・第5放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区天王町1351				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		昼間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		株式会社明日葉				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	239.07		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2021/3/16				
	経過年数(主要建物)	3				
用途地域		第一種住居地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



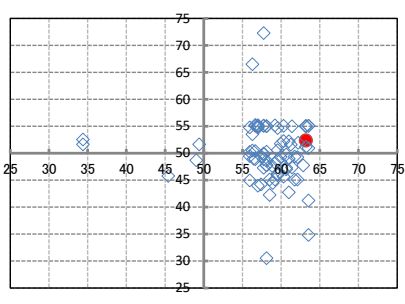
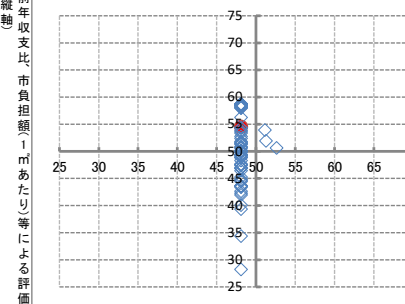
項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	42	10
	維持補修費(修繕費)	150	0	0
	物件費(光熱水費)	394	499	329
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	586	541	339
行政コスト(B-A)		586	541	339
収支前年比		108.32	159.59	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,343	2,343	2,343
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	54,634	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同 分 類	07-023	よしん第3放課後児童会	生活	0.0
	07-028	よしん第1・第2放課後児童会	生活	0.0
	07-024	与進北放課後児童会	生活	0.8
	07-069	おおせ放課後児童会	生活	1.8
そ の 他 の 分 類	15-035	与進小学校	生活	0.0
	08-030	与進幼稚園	生活	0.1
	26-040	天王雨水ポンプ場	—	0.3
	03-033	長上協働センター	生活	0.7
	15-115	与進中学校	生活	0.7
	14-043	浜松第21分団	コミュニティ	0.8
	15-036	与進北小学校	生活	0.8
	26-039	市野雨水ポンプ場	—	0.8

施設周辺地図情報	

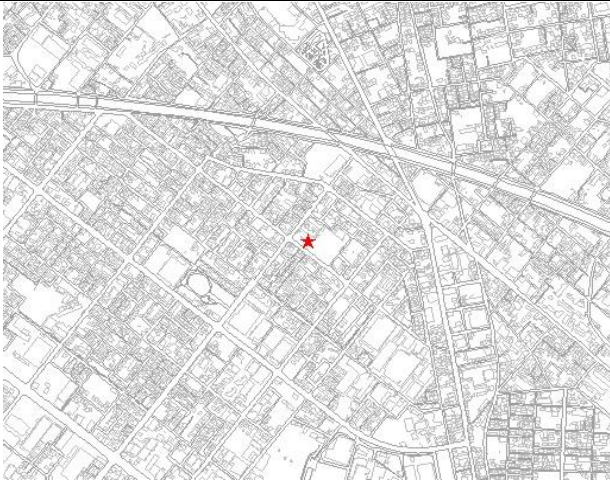
基本情報	リストNo	07-078	施設コード	05545	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	よしん第4・第5放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も需要は高い状況にあると見込まれる					
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(よしん第4放課後児童会)	2023	—	—				
2022				—	—					
2021				—	—					
事業②		放課後児童健全育成事業(よしん第5放課後児童会)	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業③	—	2023	—	—						
		2022	—	—						
事業④	—	2023	—	—						
		2022	—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	2,451	2,263	1,418	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	7,325	6,763	4,238
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考指標								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
参考指標	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
個別方針	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(与進小学校)							

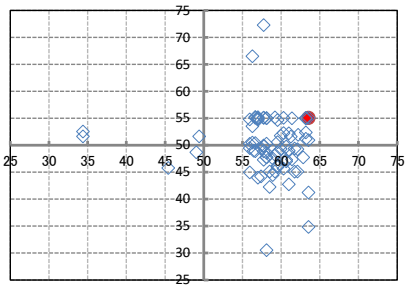
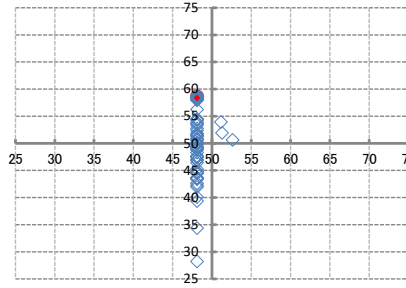
リストNo		07-079	施設コード		05637	
利利用用途別分類（施設分類）		児童福祉施設				
施設名		あおぞら放課後児童会				
所在（町名・番地）		中央区高丘東三丁目51-1				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文	
設置根拠（法）		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		株式会社明日葉				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	240.38		土地情報	土地面積	0.00
	構造（主要建物）	軽量鉄骨造			うち所有面積	0.00
	地上階数（主要建物）	2				
	耐震性能（1等値）（主要建物）	新				
	耐震工事（主要建物）	—			うち借地面積	0.00
	建築年月日（主要建物）	2022/3/18				
	経過年数（主要建物）	2				
用途地域		第一種住居地域				
区分		建設事業費（千円）	土地取得事業費（千円）		計	
設置事業費		83,190	—		83,190	
財源	国・県	42,988	—		42,988	
	寄付金	—	—		—	
	その他	—	—		—	
	市債	21,100	—		21,100	
	一般財源	19,102	—		19,102	
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	7	0
	維持補修費(修繕費)	24	56	0
	物件費(光熱水費)	312	335	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	357	398	0
	行政コスト(BーA)	357	398	0
収支前年比		89.70	—	—
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		2,481	2,481	2,481
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開設日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	60,325	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-005	葵西放課後児童会	生活		0.8	
	07-049	はつおい放課後児童会	生活		1.4	
	07-017	みずほ放課後児童会	生活		1.6	
	07-072	みかた放課後児童会	生活		1.8	
そ の 他 の 分 類	15-011	葵が丘小学校	生活		0.0	
	03-067	葵が丘会館	コミュニティ		0.4	
	01-030	北部市民サービスセンター	生活		0.6	
	03-027	北部協働センター	生活		0.7	
	06-005	北図書館	地域		0.7	
	15-133	北星中学校	生活		0.7	
	15-102	開成中学校	生活		0.8	
	15-012	葵西小学校	生活		0.8	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-079	施設コード	05637	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	あおぞら放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる					
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年生から小学生に拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(あおぞら放課後児童会)	2023	—	—				
				2022	—	—				
				2021	—	—				
事業②		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業③		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業④		—	2023	—	—					
	2022		—	—						
	2021		—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,485	1,656	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,463	4,975	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(葵ヶ丘小学校)								

リストNo		07-080		施設コード		05638	
利用用途別分類（施設分類）		児童福祉施設					
施設名		ありたま・ありたま第2放課後児童会					
所在（町名・番地）		中央区有玉南町614					
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文	
設置根拠（法）		児童福祉法					
条例		—					
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者		昼間に保護者が対応できない小学生					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～					
管理者名		株式会社明日葉					
開館時間		13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	276.55		土地情報	土地面積	0.00	
	構造（主要建物）	軽量鉄骨造			うち所有面積	0.00	
	地上階数（主要建物）	2					
	耐震性能（1s値）（主要建物）	新					
	耐震工事（主要建物）	—			うち借地面積	0.00	
	建築年月日（主要建物）	2022/3/17			代表地目（現況地目）		
	経過年数（主要建物）	2					
用途地域		市街化調整区域					
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計	
設置事業費		95,772		—		95,772	
財源	国・県	47,764		—		47,764	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	31,200		—		31,200	
	一般財源	16,808		—		16,808	
特記事項	—						

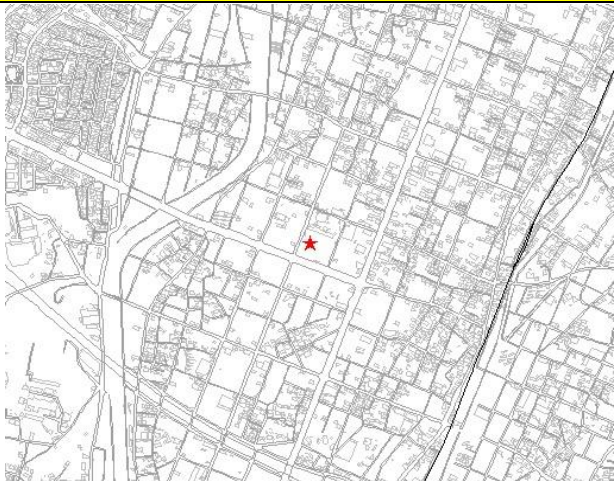


項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	14	0
	維持補修費(修繕費)	157	0	0
	物件費(光熱水費)	462	568	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	661	582	0
行政コスト(B－A)		661	582	0
収支前年比		113.57	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,799	2,799	2,799
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	100	100	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	68,059	—	

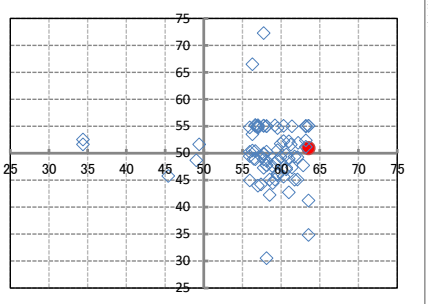
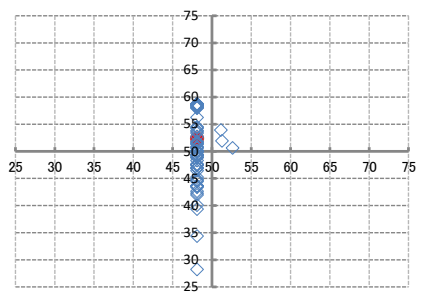
主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同 分 類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-025	積志ひまわり放課後児童会	生活	1.3
	07-024	与進北放課後児童会	生活	1.9

そ の 他 の 分 類	15-034	有玉小学校	生活	0.1
	08-029	有玉幼稚園	生活	0.2
	14-011	東消防署有玉出張所	地域	0.4
	24-004	欠下排水機場	—	0.6
	24-005	大菩薩揚水機場	—	0.8
	24-006	半田排水機場	—	1.1
	15-112	積志中学校	生活	1.1
	13-025	有玉台団地	地域	1.1

施設周辺地図情報


基本情報	リストNo	07-080	施設コード	05638	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	ありたま・ありたま第2放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる					
	特記事項		平成27年4月より、対象児童を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数	
		事業①	放課後児童健全育成事業(ありたま放課後児童会)	2023	—	—	—	
				2022	—	—	—	
				2021	—	—	—	
事業②		放課後児童健全育成事業(ありたま第2放課後児童会)	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—		
	2022		—	—	—			
	2021		—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	○	—			
	広域化	—	—	—	—			
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,390	2,105	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,610	5,820	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなこよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—		
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(有玉小学校)								

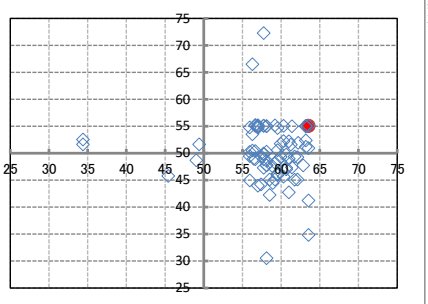
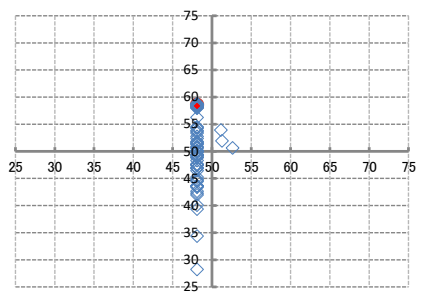
リストNo		07-081		施設コード		05639		
利用用途別分類（施設分類）		児童福祉施設						
施設名		こりす・こりす第2放課後児童会						
所在（町名・番地）		中央区富塚町3541						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠（法）		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	276.55		土地情報	土地面積	0.00		
	構造（主要建物）	軽量鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数（主要建物）	2				うち借地面積	0.00	
	耐震性能（1st値）（主要建物）	新						
	耐震工事（主要建物）	—						
	建築年月日（主要建物）	2022/3/18						
	経過年数（主要建物）	2			代表地目（現況地目）			
用途地域		第一種低層住居専用地域						
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計		
設置事業費		95,772		—		95,772		
財源	国・県	47,764		—		47,764		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	31,200		—		31,200		
	一般財源	16,808		—		16,808		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	14	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	315	330	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	357	344	0
行政コスト(BーA)		357	344	0
収支前年比		103.78	—	—
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		2,861	2,861	2,861
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	100	100	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数		—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	69,576	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-068	とみつか放課後児童会	生活		0.4	
	07-015	ひろさわ放課後児童会	生活		1.8	
その他の分類	15-026	富塚西小学校	生活		0.1	
	15-025	富塚小学校	生活		0.4	
	03-073	富塚西会館	コミュニティ		0.4	
	14-006	中消防署富塚出張所・浜松第8分団	地域		0.6	
	03-023	富塚協働センター	生活		0.6	
	15-107	富塚中学校	生活		0.7	
	03-082	富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区	コミュニティ		0.9	
	08-003	権現谷保育園	生活		0.9	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-081	施設コード	05639	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	こりす・こりす第2放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時に放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生から小学生に拡大							
	主な事業	事業①	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
							のべ募集人員	参加者数		
			放課後児童健全育成事業(こりす放課後児童会)		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業②			放課後児童健全育成事業(こりす第2放課後児童会)		2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業③			—		2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業④			—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	1,291	1,244	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	3,570	3,440	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(富塚西小学校)								

リストNo		07-082	施設コード		05640	
利利用用途別分類（施設分類）		児童福祉施設				
施設名		第一・第二すみれクラブ				
所在（町名・番地）		浜名区西美蘭1588				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課		課長名	北村 聡	
設置根拠（法）		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	240.38		土地情報	土地面積	0.00
	構造（主要建物）	軽量鉄骨造			うち所有面積	0.00
	地上階数（主要建物）	2				
	耐震性能（1st値）（主要建物）	新				
	耐震工事（主要建物）	—				
	建築年月日（主要建物）	2022/3/18				
	経過年数（主要建物）	2			うち借地面積	0.00
				代表地目（現況地目）		
用途地域		第一種中高層住居専用地域				
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計
設置事業費		78,514		—		78,514
財源	国・県	47,764		—		47,764
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	16,900		—		16,900
	一般財源	13,850		—		13,850
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	14	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	42	14	0
行政コスト(BーA)		42	14	0
収支前年比		300.00	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,316	2,316	2,316
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開設日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	56,306	—	

		年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
主な 改修 履歴							
近隣施設							
同 分 類	No	施設名	圏域種別	距離(km)			
	07-064	第一・第二すずらんクラブ	生活	0.1			
	07-063	伎倍ひまわりクラブ	生活	1.1			
	07-083	秋桜第二・第三児童クラブ	生活	1.1			
	07-065	たつのこクラブ	生活	1.9			
そ の 他 の 分 類	15-083	北浜北小学校	生活	0.1			
	08-068	北浜中央幼稚園	生活	0.4			
	10-017	ふれあい交流センター浜北	地域	0.5			
	24-041	小林雨水貯留池排水ポンプ室	—	0.5			
	17-008	美蘭中央公園	地域	0.5			
	24-042	瀬崎雨水貯留池排水ポンプ室	—	0.6			
	15-139	北浜中学校	生活	0.8			
	08-074	北浜北幼稚園	生活	0.9			
施設周辺地図情報							

基本情報	リストNo	07-082	施設コード	05640	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	第一・第二すみれクラブ			所管課	施設	子ども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(第一すみれクラブ)	2023	—	—	—			
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
事業②		放課後児童健全育成事業(第二すみれクラブ)	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業④		—	2023	—	—	—				
	2022		—	—	—					
	2021		—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	175	58	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	525	175	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
参考	利用者等の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し 複合化				2民活導入 (1)維持管理			
		(2)改修・更新時				(3)その他			
		当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(北浜北小学校)							

リストNo		07-083	施設コード		05641	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		秋桜第二・第三児童クラブ				
所在(町名・番地)		浜名区横須賀800-4				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課		課長名	北村 聡	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	141.90		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2022/1/24			代表地目(現況地目)	
	経過年数(主要建物)	2				
用途地域		第一種中高層住居専用地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		56,507		—		56,507
財源	国・県	23,882		—		23,882
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	20,400		—		20,400
	一般財源	12,225		—		12,225
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	28	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	28	0	0
行政コスト(B-A)		28	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,515	1,515	1,515
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	36,842	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
同分類	No	施設名	圏域種別 距離(km)
	07-057	北浜南たんぼぼクラブ	生活 1.0
	07-064	第一・第二すずらんクラブ	生活 1.1
	07-082	第一・第二すみれクラブ	生活 1.1
	07-063	伎倍ひまわりクラブ	生活 1.3
	07-065	たつのこクラブ	生活 1.5
その他の分類	14-150	北浜分団・北浜小学校放課後児童会複合施設(分団庁舎)	コミュニティ 0.0
	15-081	北浜小学校	生活 0.1
	18-008	浜北防災センター	地域 0.3
	05-020	浜北体育館	地域 0.3
	14-023	浜北消防署	地域 0.4
	16-011	浜北学校給食センター	地域 0.4
	15-139	北浜中学校	生活 0.5
	13-066	高畑団地	地域 0.5



基本情報	リストNo	07-083	施設コード	05641	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	秋桜第二・第三児童クラブ			所管課	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況					
					のべ募集人員	参加者数				
			2023	—	—	—	—			
2022			—	—	—	—				
事業①		放課後児童健全育成事業(第二秋桜クラブ)	2023	—	—	—	—			
			2022	—	—	—	—			
			2021	—	—	—	—			
			2020	—	—	—	—			
事業②		放課後児童健全育成事業(第三秋桜クラブ)	2023	—	—	—	—			
			2022	—	—	—	—			
			2021	—	—	—	—			
			2020	—	—	—	—			
事業③	—	2023	—	—	—	—				
		2022	—	—	—	—				
		2021	—	—	—	—				
		2020	—	—	—	—				
事業④	—	2023	—	—	—	—				
		2022	—	—	—	—				
		2021	—	—	—	—				
		2020	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
		—								
	対応策	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	○	—				
	広域化	—	—	—	—					
	民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	197	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	350	0	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(北浜小学校)								